

平成22年度 施策評価 1次評価

施策名	患者本位の医療体制の充実
-----	--------------

担当部局	担当部局長の氏名
医療部	金久 和幸

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	Ⅲ 健やか安心都市			
計画項目	(施策)	③ 患者本位の医療体制の充実			
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	住民が住み慣れた地域において健やかで充実した生活を送ることができるよう、医療拠点を確保し、患者本位の安全で安心な医療サービスを提供する。			
めざす目標		指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標
	救命機器の設置を進めます	除細動器(AED)の市施設設置数	0台	H16 39台	H21 80台 H26

※参考 後期基本計画 めざす目標		指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標	
	救命機器の設置を進めます	除細動器(AED)の市施設設置数	0台	H16 22台	H20 80台 H26	
	病院事業経営を健全化します	経常収支比率	新規	-	98.2%	H20 101.8% H23
		職員給与費対業収比率	新規	-	60.2%	H20 56.9% H23
医師、看護師等の安定的確保対策を進めます	医療確保奨学金等の貸付件数(医師)	新規	-	3件	H20 5件 H26	
	医療確保奨学金等の貸付件数(看護師)	新規	-	0件	H20 6件 H26	

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果					担当課	
		H21決算額(千円)	内、一般財源(千円)	目標達成度	効率性	事業内容の方向性		事業規模の方向性
1 地域包括医療の推進	1 地域医療体制整備補助金	26,675	26,675	○	○	維持	維持	医療
2 医療機関の充実と連携	2 救急医療体制強化補助金	1,600	1,600	○	○	維持	維持	医療
	3 休日応急診療事業	3,675	3,675	○	○	維持	維持	医療
	4 医療確保奨学金貸与事業	10,200	10,200	○	○	維持	維持	医療
	5 市立病院繰出金	839,500	839,500	○	○	維持	拡大	医療
	6 市立診療所繰出金	25,000	25,000	○	○	維持	維持	医療
	計	906,650	906,650					

CHECK

評価	①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか		
	○	◎ 予定以上に進んでいる	理由 市内の病院や診療所、歯科診療所などの医療提供体制は維持されており、身近な医療機関として多くの市民に利用されている。
		○ 予定どおり進んでいる	
		▲ 少し遅れている	
		× 大幅に遅れている	
	②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか		
○	◎ 有効であった	理由 平成21年度において、病院スタッフの不足に伴い京丹後市立弥栄病院で休床中の一般病床数を48床削減したが、京丹後市立中央病院で50床増床となったため、市内の病床数は維持されることとなった。補助対象となっている民間医療機関の患者数は増加傾向となっており、医療サービスの向上が図られているものと考えられる。 また、市立病院においても改革プランに沿って病院経営の総合的な改革や経営の健全化が進んでおり、事業の効果が上がっているものと考えられる。	
	○ おおむね有効であった		
	▲ あまり有効でなかった		
	× 有効でなかった		
③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業5、6)			
優先度 高い	事務事業		理由
	1	地域医療体制整備補助金	過去10年間にわたる診療報酬のマイナス改定もあり医療機関の経営は大変厳しい状況となっており、市内の医療提供体制を維持するために必要な事業である。
優先度 低い	事務事業		理由
	3	休日応急診療事業	これまでの外部評価で高い評価を受けているが、開業医が減少する中、実態として当番医の維持が困難になっている。今後は、市立病院での対応拡大により対応する必要がある。

ACTION

改善	<p>今後の施策展開をどうするか</p> <p>現在の事業を継続実施することが必要。 特に、市としては、市立病院改革プランにそって病院経営の総合的な改革を進めるとともに、医師、看護師体制の拡充を図り、救急医療、小児科医療、透析医療、在宅医療、訪問看護など、ニーズの高い分野の充実に重点的に取り組むものとする。</p>
----	--